

# 平成30年度 伊万里小学校 校内研究計画

## 研究主題

### 基礎・基本の定着と、自ら学ぶ児童の育成

#### ～ 算数科における「自分の考えを表現する活動」を通して ～（3年次）

## 1 主題設定の理由

本校では、平成28年度より佐賀県の活用力向上研究指定を受け、「自分の考えを表現する活動」に重点を置き、2年間研究に取り組んできた。自分の考えを図、式、言葉で表現し、説明する活動である。昨年度は、単元を内容や時間のまとまりを見通して、3つの場（「問題解決の場」「教えて考えさせる場」「習熟の場」）に分け、「多様な考えを引き出したり、考えを広め深めたりする場」「知識及び技能の習得の場」「習熟を通して学習内容を定着させる場」を意識して指導にあたってきた。

平成29年度の全国学力・学習状況調査では、算数A・Bともに全国比を若干下回っていたが、12月の県学習状況調査では、算数科において4、5年生は県平均を上回っていた。特に、記述式の正答率が上昇し、無解答率も減少していた。しかし、計算式を使って答えを出すことはできても、その過程を筋道立てて説明したり、題意や条件に即した解答や文章を書いたりすることにはまだ課題は残る。

そこで、今年度もこれまでの実践や本校児童の実態を考慮し、「基礎的・基本的な知識・技能の獲得」「主体的に学習に取り組む態度の育成」「思考力・判断力・表現力の育成」を目指して問題解決型学習と教えて考えさせる授業を軸に自分の考えを図、式、数、言葉などを使って表現し、学び合う学級集団をつくるような授業改善を行っていくことで児童の思考力・判断力・表現力を伸ばし、活用力の向上につなげることができると考え、本主題を設定した。

## 2 研究の目標

各学年の発達段階に応じた数学的活動を取り入れ、課題に対して基礎的・基本的な知識・技能を活用しながら自分の考えを表現し、互いの考えを比較し合う活動を取り入れた授業を展開していくことで、自ら学ぶ児童の育成をめざす。

## 3 研究の内容と方法

### (1) 数学的活動を通して自分の考えを持ち、表現する場を設けた授業実践

ア 指導計画の中に「問題解決の場」「教えて考えさせる場」「習熟の場」を位置づける。

問題解決の場：多様な考えを引き出したり、考えを広め深めたりする授業。（問題解決型授業）

教えて考えさせる場：教師が基本的なことを教えた上で、知識・理解を習得させる授業。

（「教えて考えさせる授業」の視点で）

習熟の場：習熟を通して学習内容を定着させる授業。

イ 「問題解決の場」の授業において、基本的な学習過程（つかむ、見通す、さぐる、練り合う、振り返る）を組み、各学習活動場面の手立てを工夫する。

ウ 「教えて考えさせる授業」において、各学習活動場面の手立てを探る。

エ 全体授業研究会を実施し、全員が研究授業に関わっていく体制をつくり、授業の参観をし合うことで、授業力向上に努める。また、講師を招いて研究内容についての指導を受ける。

### (2) 学習環境・学習規律の確立

ア 算数への興味・関心を高める学習環境づくり。

イ 基本的学習習慣の確立。

ウ 「いまりっ子タイム」（朝のドリルタイム）の効果的な活用。

### (3) 家庭学習の充実

ア 家庭学習の内容と方法の確立。